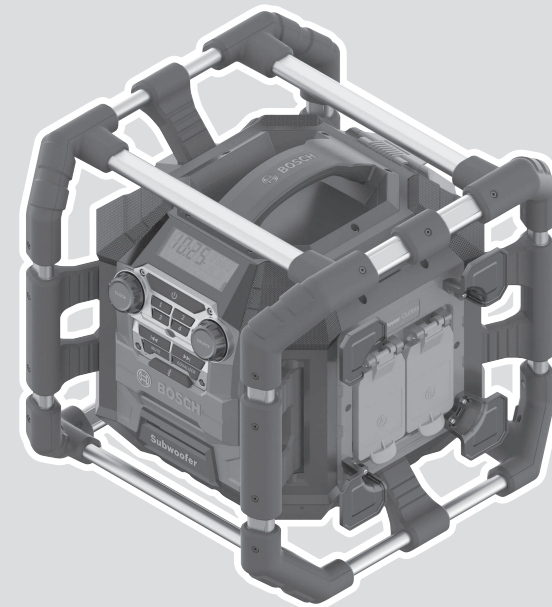




GPB 18V-5 C Professional HEAVY DUTY



Robert Bosch Power Tools GmbH
70538 Stuttgart
GERMANY

www.bosch-pt.com

1 609 92A 7B9 (2021.11) T / 17

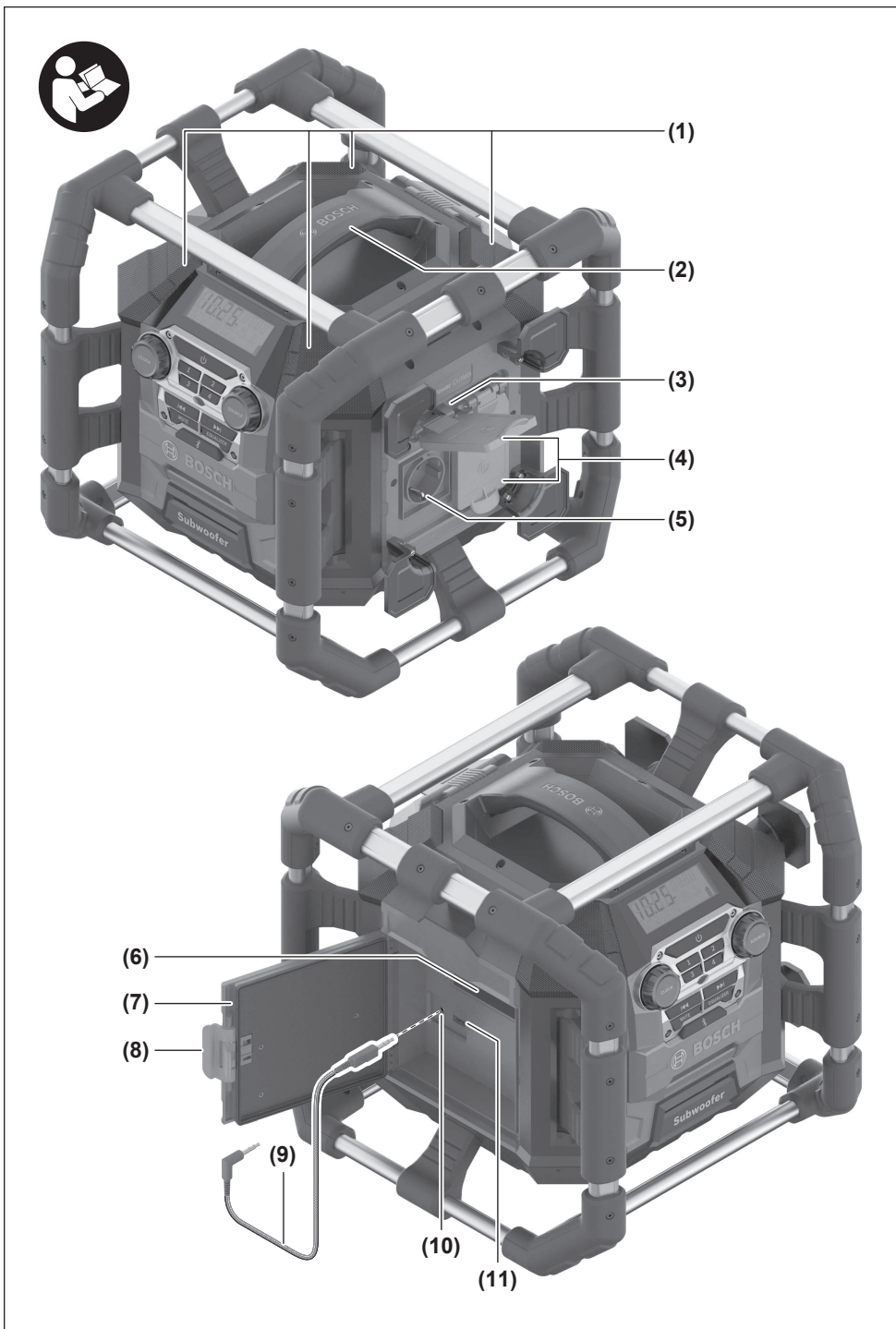


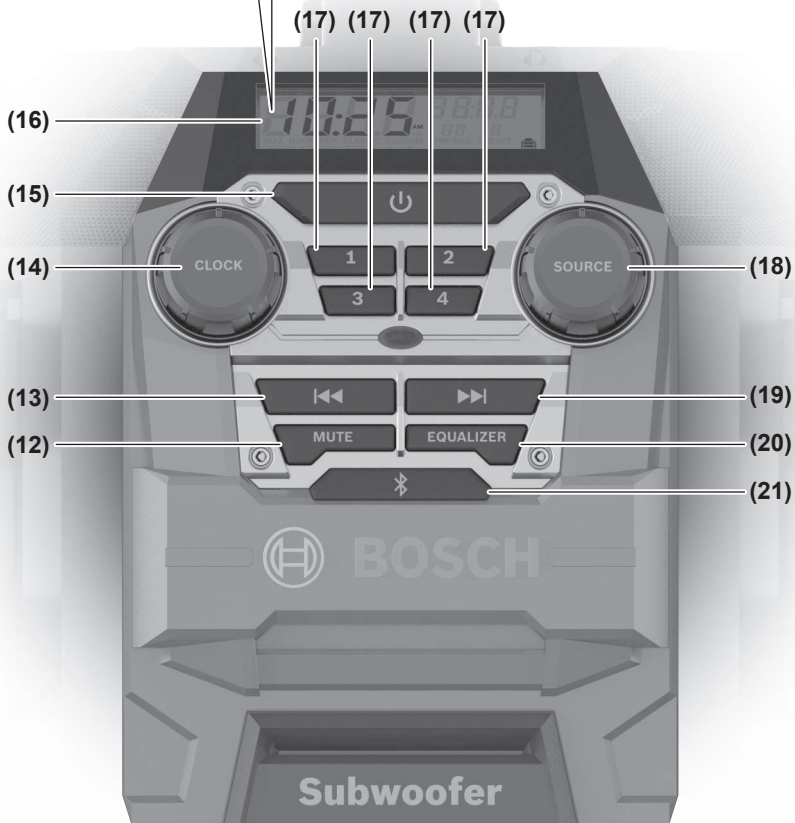
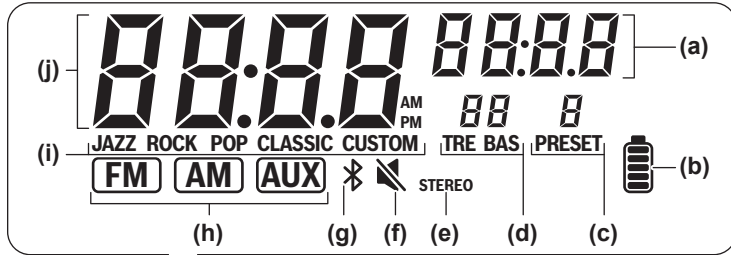
1 609 92A 7B9

ja オリジナル取扱説明書
ko 사용 설명서 원본



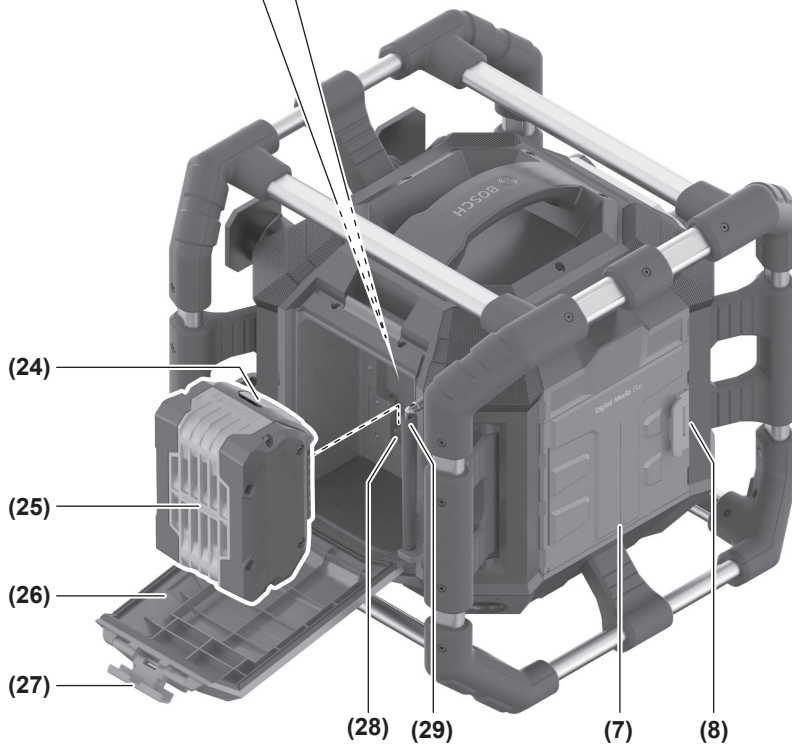
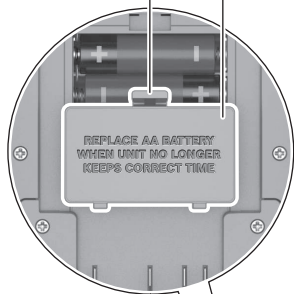
日本語 ページ 6
한국어 페이지 12







(22) (23)



日本語

安全上の注意事項



安全上の注意事項と指示にすべて目を通してください。安全上の注意事項と指示を守らないと、感電、火災または/および重傷を招くことがありますのでご注意ください。

今後の使用のために、すべての安全上の注意事項と指示をしっかりと守ってください。

- ▶ 本製品を使用する際は毎回、事前にラジオ、電源コードと電源プラグを確認してください。ラジオが損傷している場合は決して使用しないでください。ラジオと電源プラグをご自分で分解しないでください。修理は必ずお買い求めの販売店、または電動工具サービスセンターにお申し付けください。専門知識を備えた担当スタッフが純正交換部品を使用して作業を行います。ラジオ、電源コードや電源プラグが損傷していると、感電の危険が高まります。
- ▶ 電源プラグはアース付きコンセントに必ず差し込んでください。
- ▶ 電源プラグは、コンセントの形状と一致している必要があります。電源プラグを決して改造しないでください。アダプタープラグとラジオを併用しないでください。プラグを改造したり、コンセントの形状が一致していないと、感電する危険が高まります。
- ▶ 電源コードを完全にほどいてからラジオの主電源を入れてください。そうしないと、電源コードが熱を帯びる可能性があります。
- ▶ ラジオを持ち運んだり吊したりする際、さらにコンセントから電源プラグを引き抜く時などに、電源コードを手荒に扱わないでください。また、先の尖った物、高温になるもの、油や作動中の工具部品が電源コードに触れないようにしてください。電源コードが損傷したり、絡まると、感電する危険が高まります。



ラジオに雨水などがかからないようにしてください。水がラジオの内部に浸入してしまうと、感電する危険が高まります。

- ▶ バッテリーを分解しないでください。ショートにつながるおそれがあります。
- ▶ バッテリーが損傷していたり、バッテリーを不適切に使用すると、煙が発生する可能性があります。さらにバッテリーが発火したり、爆発したりするおそれがあります。その場合には新鮮な空気を取り入れ、不快感がある場合には医師の診断を受けてください。煙が気道を刺激する可能性があります。
- ▶ 誤った方法でバッテリーを使用したり、不具合のあるバッテリーを使用したりすると、バッテリーから可燃性の液体が漏れ出るおそれがあります。その液体に決して触れないでください。誤って触れてしまった場合には、すぐにきれいな

な水で洗い流してください。液体が目に入った場合は、すぐに医師の診断を受けてください。バッテリー液が漏れ出した場合、皮膚に接触すると刺激を受けたり、やけどにつながるおそれがあります。

- ▶ 釘やドライバーなどの先の尖った物体により、または外的な力を加えるとバッテリーが損傷することがあります。これによって内部ショートが生じたり、バッテリーが燃焼・発煙・爆発・過熱するおそれがあります。
- ▶ コンタクトをブリッジするおそれのあるクリップ、硬貨、鍵、釘、ネジやその他の小さな金属製のものに、使用していないバッテリーを近づけないでください。バッテリーのコンタクト間のショートは、火災につながるおそれがあります。
- ▶ メーカーの製品にのみバッテリーを使用してください。組み合わせで使用になる場合に限り、バッテリーは危険な過負荷から保護されます。
- ▶ メーカーが推奨している充電器でのみバッテリーを充電してください。特定のバッテリーの充電を目的に製造された充電器で他のバッテリーを充電すると、火災の原因となることがあります。



長時間当たる直射日光、火、汚れ、水や湿度から保護し、バッテリーを熱から守ってください。爆発やショートにつながるおそれがあります。



Bluetooth®の文字商標および記号（ロゴ）は Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標です。これらの文字商標/記号は Robert Bosch Power Tools GmbHが使用許可を受けています。

製品と仕様について

取扱説明書の冒頭に記載されている図を参照してください。

各部の名称

以下の番号はイラストページのラジオの構成図に一致しています。

- (1) スピーカー
- (2) キャリングハンドル
- (3) AC接続部コントロールライト
- (4) AC接続部カバーフラップ
- (5) AC接続部ソケット (Power Outlets)
- (6) 保管コンパートメント
- (7) メディアコンパートメントのカバー (Digital Media Bay)
- (8) メディアコンパートメントのカバーのロックレバー
- (9) AUXケーブル
- (10) AUX-INソケット
- (11) USB充電ソケット

- (12) ミュートボタン
- (13) 下方サーチボタン
- (14) クロックボタン
- (15) オン/オフスイッチ
- (16) ディスプレイ
- (17) プログラムメモリボタン
- (18) ソースボタン
- (19) 上方サーチボタン
- (20) エコライザーボタン
- (21) Bluetooth®ボタン
- (22) バッテリーケースカバーのロック
- (23) バッテリーケースカバー (バックアップ用電池)
- (24) バッテリーロック解除ボタン^{a)}
- (25) バッテリー^{a)}
- (26) バッテリーカバー (Battery Bay)
- (27) バッテリーカバーロックレバー
- (28) バッテリーホルダー
- (29) ロッドアンテナ

a) 記載されている付属品は標準のセット内容には含まれていません。付属品の内容についてはポッシュ電動工具カタログをご確認ください。

画面表示

- (a) ラジオ周波数表示
- (b) 充電容量表示
- (c) メモリ場所表示
- (d) 高音/低音レベル表示
- (e) ステレオ受信表示
- (f) ミュート表示
- (g) Bluetooth®表示
- (h) 音源表示
- (i) 音響プリセット表示
- (j) 時間表示

テクニカルデータ

ラジオ	GPB 18V-5 C	
部品番号	3 601 DA4 0..	
作動電圧		
- 電源使用時	V	220/100
- バッテリーでの作動時	V	18
アンプの定格出力	W	4 × 5
FM受信領域	MHz	76 ~ 108
AM受信領域	kHz	522 ~ 1710
Bluetooth®互換性	Bluetooth® 5.0	
Bluetooth®作動周波数	MHz	2402 ~ 2480
Bluetooth®最大送信出力	mW	10

ラジオ	GPB 18V-5 C	
バックアップ用電池		1.5V LR6 (単3) × 2本
質量 (EPTA-Procedure 01:2014に準拠)	kg	9.2-10.2 ^{A)}
保護クラス		Ⓜ/I
充電時の推奨周囲温度	°C	0 ~ +35
使用可能温度範囲	°C	0 ~ +35
保管温度範囲	°C	-20... +50
使用可能バッテリー		GBA 18V... ProCORE18V...
使用可能充電器		GAL 18... GAX 18... GAL 36...

A) 使用するバッテリーに応じて異なる

ラジオの電源供給

本ラジオの電源は、電源またはリチウムイオンバッテリー (25) を介して供給されます。

バッテリーが電源供給に使用される場合、オーディオモードと内蔵USBポートを介した外部機器への電源供給の機能に限られます。

電源使用時

- ▶ **電源電圧に注意してください!** ラジオの銘板に表示されている電圧の電源を使用してください。230Vの表示があるラジオは、220Vでも使用することができます。

電池での作動

- ▶ **テクニカルデータに記載されている充電器のみをご使用ください。** これらの充電器は、ラジオに使用可能なリチウムイオンバッテリーに対応しています。

注意事項: ラジオに対応していないバッテリーを使用すると、ラジオの誤作動や損傷を招くおそれがあります。

リチウムイオンバッテリーは電子セルプロテクション["Electronic Cell Protection (ECP) "]により過放電から保護されています。バッテリーが放電すると、ラジオは保護回路によりオフになります。

- ▶ **保護回路によりオフになると、ラジオはオンにできなくなります。** バッテリーが損傷するおそれがあります。

バッテリーを交換する

バッテリーカバーのロックレバー(27)を開き、バッテリーカバー(26)を開きます。

バッテリーを取り出すには、バッテリーロック解除ボタン(24)を押して、バッテリーケースからバッテリーを引き出します。その際、無理な力を加えないでください。

8 | 日本語

バッテリーを**はめ込む**には、バッテリーをバッテリーホルダー**(28)**に押し込み、バッテリーの接続部をバッテリーホルダーの接続部に合わせます。バッテリーをしっかりと**はめ込み**ます。バッテリーカバー**(26)**を閉じてロックします。

充電容量表示

バッテリーの使用時には、ディスプレイでバッテリー**(25)**の充電容量を確認でき、バッテリーを取り出した場合はバッテリー本体で確認することができます。

ディスプレイでの充電容量表示

バッテリーが十分な電圧で使用されていて、ラジオが電源に接続されていないときに、充電容量表示**(b)**がディスプレイに表示されます。

表示	バッテリー容量
	80~100 %
	60~80 %
	40~60 %
	20~40 %
	5~20 %
	0~5 %

バッテリーでの充電容量表示

ラジオからバッテリーを取り出した場合、バッテリーの充電容量表示の緑のLEDで充電容量を表示させることができます。

充電容量を表示させるには、充電容量表示ボタン[Ⓜ]または[Ⓝ]を押します。

充電容量表示ボタンを押してもLEDが点灯しない場合には、バッテリーに不具合がありますので、バッテリーを交換してください。

バッテリータイプ GBA 18V...



LED	バッテリー容量
連続、3個、緑色	60~100 %
連続、2個、緑色	30~60 %
連続、1個、緑色	5~30 %
点滅、1個、緑色	0~5 %

バッテリータイプ ProCORE18V...



LED	バッテリー容量
連続、5個、緑色	80~100 %
連続、4個、緑色	60~80 %
連続、3個、緑色	40~60 %

LED	バッテリー容量
連続、2個、緑色	20~40 %
連続、1個、緑色	5~20 %
点滅、1個、緑色	0~5 %

バックアップ用電池のセット/交換

ラジオの時刻およびその他の設定の保存用にバックアップ用電池をセットする必要があります。アルカリマンガン電池の使用を推奨します。

バッテリーカバーのロックレバー**(27)**を開き、バッテリーカバー**(26)**を開きます。

必要に応じてバッテリー**(25)**を取り出します。

バッテリーケースカバー**(23)**を開くには、ロック**(22)**を押し、バッテリーケースカバーを取り出します。同梱のバックアップ用電池をセットします。

その際、電池ケース内側の表示に従い、電池の向きに注意してください。

バッテリーケースカバー**(23)**を再度取り付けます。

"REPLACE AA BATTERY WHEN UNIT NO LONGER KEEPS CORRECT TIME": ラジオの時刻が保存されなくなった場合には、バックアップ用電池を交換してください。

電池はすべて同じタイミングで交換してください。また、複数のメーカーに分けたりせず、単一メーカーの同じ容量の電池のみを使用してください。

▶ **本ラジオを長期間使用しない場合は、ラジオからバックアップ用電池を取り出してください。**バックアップ用電池をラジオの中に長期間入れたままにすると、電池の腐食や自然放電につながる可能性があります。

操作

▶ **ラジオが直接水に触れないようにしてください。**水がラジオの内部に浸入してしまうと、感電する危険が高まります。

▶ **バッテリーケース、メディアコンパートメント、AC接続部のカバーはできるだけ閉じたままにしてください。**カバーを閉じておくことで、ラジオが水やほこりから守られます。

オーディオモード

オン/オフ

ラジオの電源を入れるには、オン/オフスイッチ**(15)**を押します。ディスプレイ**(16)**が作動し、前回ラジオをオフにしたときに設定されていた音源が再生されます。

ラジオの電源を切るには、オン/オフスイッチ**(15)**を新たに押します。その時点での音源の設定が保存されます。

音量を設定する

ラジオをオンにした後は、常に低めの音量が設定されています。

音量を上げるには、クロックボタン (14) を時計回りに回し、音量を下げるには反時計回りに回します。

音量設定はディスプレイに0~30の値で表示されます。ラジオ放送局の設定や切替えの前には音量を低めの値に設定し、外部音源の再生開始前には中間の値にするようにしてください。

音をオフにするには、ミュートボタン (12) を短く押します。ディスプレイにミュート表示 (f) が表示されます。

音を再びオンにするには、再度ミュートボタンを短く押すか、クロックボタン (14) を時計回りに回します。

音響を設定する

最適に再生するために、ラジオにはエコーライザーが内蔵されています。

高音および低音レベルを手動で変更したり、音響プリセットを様々な音楽スタイルに合わせて使用できます。事前にプログラミングされている設定 **JAZZ, ROCK, POP**、および **CLASSIC** 自身でプログラミング可能な設定 **CUSTOM** から選択できます。音響設定は各音源に対して別個に保存されます。

保存されている音響プリセットのいずれかを選択するには、エコーライザーボタン (20) を何度か短く押して、ディスプレイの音響プリセット表示 (i) に希望する設定を表示させます。

設定の変更CUSTOM:

- 高音レベルと低音レベルを-5~+5の範囲で設定できます。
- エコーライザーボタン (20) を0.5秒以上押しします。ディスプレイに音響プリセット表示 (i) が表示されます **CUSTOM**。
- 高音/低音レベル表示 (d) に **TRE** が表示され、高音レベルの現在値が点滅します。クロックボタン (14) を回して、高音レベルを変更します。クロックボタン (14) を押して、設定した値を保存します。高音/低音レベル表示 (d) に **BAS**、および低音レベルの現在値が表示されます。低音レベルの変更および保存は、高音レベルの手順と同様に行います。
- 低音レベル設定の保存後、またはクロックボタン (14) を前回操作してから10秒経つと、ラジオが標準ディスプレイ表示に戻ります。

音源を選択する

音源を選択するには、ソースボタン (18) を何度か押して、ディスプレイに希望の内部音源または外部音源を表示させます。

- **FM**: アナログFMラジオ、
- **AM**: アナログAMラジオ

- **AUX**: メディアコンパートメント内の3.5 mm ソケット **AUX IN (10)** を介した外部音源 (CDプレーヤーなど)
- **Bluetooth**: Bluetooth® による接続を介した外部音源 (スマートフォンなど)

現在の音源は、音源表示 (h) または Bluetooth® 表示 (g) で確認できます。

ラジオ放送局を設定/保存する

ラジオ放送局の音源を選択するには、ソースボタン (18) を何度か押して、音源表示 (h) にFM受信領域では **FM**、またはAM受信領域では **AM** を表示させます。

設定時、ラジオ周波数が時刻表示 (j) に表示され、その後、ラジオ周波数表示 (a) に表示されます。適切な信号を十分な強さで受信している場合は、ラジオが自動的にステレオ受信に切り替わり、ディスプレイにステレオ受信表示 (e) が表示されます。

- **特定の放送局を設定する** には、ソースボタン (18) を回して、希望の周波数または希望の放送局をディスプレイに表示させます。
- **現在の周波数付近でより高い信号強度の放送局をサーチする** には、下方サーチボタン (13)、または上方サーチボタン (19) を短く押します。現在の周波数付近の放送局がディスプレイに表示され、その放送が流れます。
- **より高い信号強度の放送局すべてをサーチする** には、下方サーチボタン (13)、または上方サーチボタン (19) を0.5秒以上押しします。見つかったすべての放送局の放送が5秒間流れてから、周波数帯域の終わりまでサーチが続きます。放送局サーチを中止するには、下方サーチボタン (13) または上方サーチボタン (19) を短く押しします。
- **設定されている放送局を保存する** には、希望のメモリ場所のプログラムメモリボタン (17) を長めに押して、メモリ場所の番号をメモリ場所表示 (c) に表示させます。
- **最も電波が強い放送局の自動サーチと保存** を行うには、下方サーチボタン (13) と上方サーチボタン (19) を同時に押しします。ラジオは受信可能なすべての放送局をチェックし、最も受信状態の良い4つの放送局をプログラムメモリ場所1~4に保存します。その際、場合によっては保存済みの放送局が上書きされることに注意してください。サーチが終了すると、プログラムメモリ場所1に保存された放送局の放送が流れます。
- **保存されている放送局の放送を流す** には、プログラムメモリボタン (17) のいずれかを短く押しします。メモリ場所の番号がメモリ場所表示 (c) に表示されます。

ロッドアンテナを調整する

ラジオは、ロッドアンテナ (29) を取り付けた状態で納入されます。ラジオモードのときは、ロッド

アンテナを最も受信状態が良くなる方向に向けてください。

十分に受信できない場合は、もっと受信状態の良い場所にラジオを置いてください。

注意事項：無線設備や無線機器、または他の電子機器のすぐ近くでラジオを使用すると、ラジオの受信が妨げられるおそれがあります。

AUXを介して外部音源を接続する

ロックレバー (8)を開き、メディアコンパートメントのカバー (7)を開きます。AUXケーブル (9)の3.5mmプラグをAUX INソケット (10)に差し込みます。AUXケーブルを対応する音源に接続します。

AUX音源を再生するには、ソースボタン(18)を何度か押して、音源表示(h)にAUXを表示させます。AUXケーブルのプラグを取り外したときは、汚れから守るためにメディアコンパートメントのカバー (7)を再度閉じてロックしてください。

サイズが合う場合には、AUXを介して接続されている音源を保管コンパートメント (6)内に収容することもできます。

AUXモード中にプログラムメモリボタン(17)のいずれかを押すと、前回使用されたラジオモードで保存された放送局に切り替えられます。

Bluetooth®を介して外部音源を再生/操作する

Bluetooth®を使って音源 (スマートフォンなど) を再生するには、ソースボタン(18)を何度か押して、ディスプレイにBluetooth®表示(g)を表示させるか、または現在の音源とは関係なく、Bluetooth®ボタン(21)を短く押します。

過去にラジオがBluetooth®によって外部音源に接続され、その音源が使用できる場合は、自動的にその音源との接続が確立されます。接続が確立されると、Bluetooth®表示(g)が常時点灯します。2分以内に接続を確立できないと、接続確立プロセスが中断され、Bluetooth®表示(g)が点滅し続けます。

接続が確立されずにさらに17分間経過すると、ラジオは自動的にオフになります。

Bluetooth®によって新しい接続を確立する：

- 新しい外部音源との接続を確立するには、Bluetooth® (21)ボタンを0.5秒以上押します。これはサーチプロセス中や接続中、さらに他の音源での使用時でも可能です。
- ラジオがサーチプロセスを開始します。サーチプロセス中は、Bluetooth®表示(g)が点滅します。
- 外部音源から接続を有効にしてください。多くのスマートフォンでは、Bluetooth®メニューの設定内でこれを行うことができます。使用可能なソースとして、ラジオがGPB 18V-5 C xxxxという名で表示されます。こちらについては、お持ちの音源/スマートフォンの取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth®によって接続が確立されると、Bluetooth®表示(g)が常時点灯します。

Bluetooth®経由で接続されている音源は、ラジオからも操作することができます。

- **楽曲を選択して開始する**には、上方サーチボタン(19)または下方サーチボタン(13)を何度か短く押して、希望の楽曲を表示させます。すると、選択した楽曲の再生が自動的に始まりま
- **再生を中断する**には、ミュートボタン (12)を押します。ディスプレイにミュート表示 (f)が表示されます。
- **再生を再開する**には、ミュートボタン (12)を再び押して音量を変更するか、または上方サーチボタン (19)または下方サーチボタン (13)を押します。
- **1つの楽曲内で早送り/早戻しする**には、楽曲内の希望の位置に来るまで上方サーチボタン(19)または下方サーチボタン(13)を押し続けます。

Bluetooth®を介した作動中にプログラムメモリボタン(17)のいずれかを押すと、前回使用されたラジオモードで保存された放送局に切り替わりま

時刻表示を設定する

時刻表示メニューを表示させるには、クロックボタン (14)を短く押します。

12時間制<12H>、または24時間制<24H>の表示形式を選択したり、時と分を設定することができます。

メニュー内で移動する：

- メニュー設定を変更する:クロックボタン (14)を回します。
- メニュー設定を保存する:クロックボタンを押します。
- メニュー設定の保存後、またはクロックボタンを前回操作してから10秒経つと、ラジオがオーディオモードに戻ります。

ラジオの時刻が保存されなくなった場合には、バックアップ用電池を交換してください。

リセット機能

ラジオのすべての設定を出荷時の設定に戻すには (リセット)、クロックボタン (14)を0.5秒以上押します。ディスプレイには<RS>が表示されます。

クロックボタン (14)を回して、リセット<YES>、または現在の設定に戻る<NO>を選択します。クロックボタンを押して選択内容を確定します。

外部機器の電源供給

USB接続部

USBポートを使用し、USBから電源供給可能な機器 (携帯電話など) を充電することができます。最大充電電流は2.1Aです。

ロックレバー (8)を開き、メディアコンパートメントのカバー (7)を開きます。適合するUSBケーブルで外部機器のUSBポートとラジオのUSB充電ソケット (11) (USB) を接続します。

バッテリーで作動する場合、ラジオがオンになっている間のみ、外部機器を充電することができません。

サイズが合う場合には、充電中、外部機器を保管コンパートメント (6)内に収容することもできます。充電時に外部機器が高温になった場合、メディアコンパートメントのカバー (7)を開いたままにし、外部機器を過熱から保護してください。充電が終了、またはUSBケーブルを外したら、カバー (7)を再度閉じて、ラジオが汚れないように保護してください。

AC接続部

AC接続部を用いてその他の外部電子機器を作動させることができます。このソケットは各国の規格を考慮して異なる場合があります。

AC接続部を介した外部機器への電源供給は、ラジオが電源に接続されている場合に限られ、セットされているバッテリーを介しては供給されません。ラジオが電源に接続されている場合、緑色のコントロールライト (3)が点灯して確認できます。すべての接続されている電気機器の許容最大消費電力が、以下の表に記載の値を超えてはなりません (ハウジングのカバーフラップ (4)下の記載も参照) :

部品番号	最大消費電力の合計 (A)
3 601 DA4 0B0	15
3 601 DA4 050	10

AC接続部のカバーフラップ (4)を開き、外部電子機器のプラグをラジオのソケット (5)に差し込みます。

作業に関する注意事項

バッテリーを最適に取り扱うために

バッテリーを湿気や水から保護してください。-20°C ... 50°Cの温度範囲内でバッテリーを保管してください。例えば夏季にバッテリーを車両に置いたままにしないでください。

清潔で柔らかい、乾いたブラシでバッテリーの通風穴を時折清掃してください。

正しく充電しても使用能力が著しく低下するようになった場合は、バッテリーの寿命が尽きたと考えられます。新しいバッテリーと交換してください。

その際、廃棄に関する注意事項を必ず守ってください。

お手入れと保管

保守と清掃

正常かつ確実に機能するよう、ラジオを清潔に保ってください。

接続コードの交換が必要となった場合には、安全を維持するために、必ず**Bosch**または**Bosch**認定サービスセンターまでお申し付けください。

汚れは水気を含んだ柔らかい布で拭き取ってください。洗剤や溶剤を使用しないでください。

カスタマーサービス&使い方のご相談

製品の修理/メンテナンスや交換パーツに関してご質問等ございましたら、カスタマーサービスにぜひお問い合わせください。分解組立図や交換パーツに関する情報についてはHPでご確認いただけます (www.bosch-pt.com)。

ボッシュのアプリケーションサポートチームは、製品や付属品に関するご質問をお待ちしております。

お問い合わせまたは交換パーツの注文の際には、必ず本製品の銘板に基づき10桁の部品番号をお知らせください。

日本

ボッシュ株式会社 電動工具事業部
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷 3-6-7
コールセンターフリーダイヤル 0120-345-762
(土・日・祝日を除く、午前 9:00 ~ 午後 5:30)
ホームページ: <http://www.bosch.co.jp>

その他のカスタマーサービス対応窓口はこちら：
www.bosch-pt.com/serviceaddresses

運搬

同梱のリチウムイオン電池は危険物規制規則の条項に準拠しています。ユーザーが電池を路上輸送することについて制約が課されることはありません。

一方、第三者 (航空輸送会社や運送会社など) が発送を行う場合には、包装とラベルに関する特別な条項に特に注意する必要があります。発送する品物の準備については危険物の取扱を熟知した専門の担当者の指導を必ず求めてください。

外装が損傷していない場合のみ、電池を発送してください。開接点は必ず覆い、電池をしっかりと梱包し、包装の中で動かないようにしてください。また、その他の地域の規定にも注意してください。

廃棄



ラジオ、電池/バッテリー、アクセサリおよび梱包材は、環境に適合した方法でリサイクルしてください。



ラジオと電池/バッテリーを一般の家庭用ごみとして廃棄しないでください。

バッテリー/電池：

リチウムイオンバッテリー：

運搬の項に記載されている指示に注意してください (参照 „運搬“, ページ 11)。

한국어

안전 수칙



모든 안전 수칙과 지침을 숙지하십시오. 다음의 안전 수칙과 지침을 준수하지 않으면 화재 위험이 있으며 감전 혹은 충상을 입을 수 있습니다.

앞으로 참고할 수 있도록 이 안전수칙과 지침을 잘 보관하십시오.

- ▶ 사용하기 전에 항상 라디오, 케이블 및 플러그를 점검하십시오. 손상된 부위가 발견되면 라디오를 사용하지 마십시오. 라디오 및 플러그는 스스로 직접 분해하지 말고 해당 자격을 갖춘 전문 인력에게 맡겨 순정 대체품으로만 수리하십시오. 손상된 라디오, 전원 케이블 및 플러그를 사용하면 감전 위험이 높아집니다.
- ▶ 전원 플러그는 안전 차단 기능이 있고, 접근하기 쉬운 콘센트에 끼워야 합니다.
- ▶ 전원 플러그가 전원 콘센트에 잘 맞아야 합니다. 어떤 경우에도 플러그를 변경해서는 안 됩니다. 라디오와 함께 어댑터 플러그를 사용하지 마십시오. 변형되지 않은 플러그와 잘 맞는 콘센트를 사용하면 감전의 위험을 줄일 수 있습니다.
- ▶ 라디오를 전원에 연결하여 작동하는 경우, 전원 케이블을 완전히 푸십시오. 그렇지 않을 경우 전원 케이블이 가열될 수 있습니다.
- ▶ 전원 코드를 잡고 라디오를 운반하거나 걸어 놓아서는 안 되며, 콘센트에서 전원 플러그를 뽑을 때 전원 코드를 잡아 당겨서는 절대로 안 됩니다. 케이블을 열, 기름, 날카로운 모서리나 움직이는 기기 가까이에 두지 마십시오. 손상되거나 영긴 전원 케이블은 감전을 유발할 수 있습니다.



라디오가 비에 맞지 않게 하고 습기 있는 곳에 두지 마십시오. 라디오 안으로 물이 유입될 경우 감전의 위험이 높아집니다.

- ▶ 배터리를 분해하지 마십시오. 단락이 발생할 위험이 있습니다.
- ▶ 배터리가 손상되었거나 잘못 사용될 경우 증기가 발생할 수 있습니다. 배터리에서 화재가 발생하거나 폭발할 수 있습니다. 작업장을 환기시키고, 필요한 경우 의사와 상담하십시오. 증기로 인해 호흡기가 자극될 수 있습니다.
- ▶ 배터리를 잘못 사용거나 배터리가 손상된 경우, 배터리에서 가연성 유체가 흘러나올 수 있습니다. 누수가 생긴 배터리에 닿지 않도록 하십시오. 피부에 접하게 되었을 경우 즉시 물로 씻으십시오. 유체가 눈에 닿았을 경우 바로 의사와 상담하십시오. 배터리에서 나오는 유체는 피부에 자극을 주거나 화상을 입힐 수 있습니다.
- ▶ 못이나 스크류 드라이버 같은 뾰족한 물체 또는 외부에서 오는 충격 등으로 인해 축전지가 손상될 수 있습니다. 내부 단락이 발생하여 배터리가 타거나 연기가 발생하고, 폭발 또는 과열될 수 있습니다.

- ▶ 배터리를 사용하지 않을 때는 각 극 사이에 브리징 상태가 생길 수 있으므로 페이퍼 클립, 동전, 열쇠, 못, 나사 등 유사한 금속성 물체와 멀리하여 보관하십시오. 배터리 극 사이에 쇼트가 일어나 화상을 입거나 화재를 야기할 수 있습니다.
- ▶ 제조사의 배터리 제품만 사용하십시오. 그레야만 배터리 과부하의 위험을 방지할 수 있습니다.
- ▶ 배터리는 제조사에서 권장하는 충전기에만 충전하십시오. 특정 제품의 배터리를 위하여 제조된 충전기에 적합하지 않은 다른 배터리를 충전할 경우 화재 위험이 있습니다.



배터리를 태양 광선 등 고열에 장시간 노출되지 않도록 하고 불과 오염물질, 물, 수분이 있는 곳에 두지 마십시오. 폭발 및 단락의 위험이 있습니다.

- ▶ 해당 무선설비는 전파통신 가능성이 있으므로 인명안전 과 관련된 서비스는 할 수 없습니다. 블루투스® 워드마크와 그림(로고)은 Bluetooth SIG, Inc.의 등록상표입니다. Robert Bosch Power Tools GmbH는 허가를 받아 이를 사용하고 있습니다.

제품 및 성능 설명

사용 설명서 앞 부분에 제시된 그림을 확인하십시오.

제품의 주요 명칭

제품의 주요 명칭과 번호는 그림에 제시된 라디오와 일치합니다.

- (1) 스피커
- (2) 운반용 손잡이
- (3) 교류 전류 단자 표시등
- (4) 교류 전류 단자 커버 플랩
- (5) 교류 전류 단자 소켓 (Power Outlets)
- (6) 보관함
- (7) 미디어 트레이 커버 (Digital Media Bay)
- (8) 미디어 트레이의 잠금 레버
- (9) AUX 케이블
- (10) AUX-IN 소켓
- (11) USB 충전 소켓
- (12) 음소거 버튼
- (13) 하향 검색 버튼
- (14) 시계 버튼
- (15) 전원 버튼
- (16) 디스플레이
- (17) 프로그램 저장 버튼
- (18) 소스 버튼
- (19) 상향 검색 버튼
- (20) 이퀄라이저 버튼
- (21) 블루투스® 버튼
- (22) 배터리 케이스 커버의 잠금쇠

- (23) 배터리 케이스 커버(완충 축전지)
- (24) 배터리 잠금 해제 버튼^{a)}
- (25) 배터리^{a)}
- (26) 배터리 커버 (Battery Bay)
- (27) 배터리 커버 잠금 레버
- (28) 배터리 마운트
- (29) 막대형 안테나

a) 도면이나 설명서에 나와있는 액세서리는 표준 공급부품에 속하지 않습니다. 전체 액세서리는 저화 액세서리 프로그램을 참고하십시오.

디스플레이 내용

- (a) 라디오 주파수 표시기
- (b) 배터리 충전상태 표시기
- (c) 저장 공간 표시기
- (d) 고음/저음 레벨 표시기
- (e) 스테레오 표시기
- (f) 음소거 표시기
- (g) 블루투스® 표시기
- (h) 음원 표시기
- (i) 소리 사전 설정 표시기
- (j) 시간 표시기

제품 사양

건설 현장 라디오		GPB 18V-5 C
제품 번호		3 601 DA4 0..
작동 전압		
- 전원 사용 시	V	220/100
- 배터리 사용 시	V	18
증폭기 정격 출력	W	4 × 5
초단파 수신 범위	MHz	76-108
중파 수신 범위	kHz	522-1710
블루투스® 호환성		블루투스® 5.0
블루투스® 동작 주파수 범위	MHz	2402-2480
블루투스® 최대 전송 전력	mW	10
완충 배터리		2 × 1.5 V LR6 (AA)
EPTA-Procedure 01:2014에 따른 중량	kg	9.2-10.2 ^{A)}
보호 등급		⊕/I
충전 시 권장되는 주변 온도	°C	0... +35
작동 시 허용되는 주변 온도	°C	0... +35
보관 시 허용되는 주변 온도	°C	-20... +50

건설 현장 라디오		GPB 18V-5 C
권장 배터리		GBA 18V... ProCORE18V...
권장하는 충전기		GAL 18... GAX 18... GAL 36...

A) 사용하는 배터리에 따라 상이

라디오 전원 공급

라디오 전원은 전원 연결 또는 리튬이온 배터리 (25) 를 통해 공급됩니다.

배터리로 전원을 공급하는 경우, 오디오 작동 및 내장된 USB 단자를 통한 외부 기기 전원 공급 기능만 제공됩니다.

전원 연결을 통한 작동

▶ **전원 전압에 유의하십시오!** 공급되는 전원의 전압은 라디오의 명판에 표기된 전압과 동일해야 합니다. 230 V로 표시된 라디오는 220 V에서도 작동이 가능합니다.

충전용 배터리를 사용한 작동

▶ **기술자료에 기재되어 있는 충전기만 사용하십시오.** 라디오에 사용된 리튬이온 배터리에는 이 충전기만 사용할 수 있습니다.

지침: 라디오에 적합하지 않은 배터리를 사용하면 라디오에 기능 장애가 생겨 기기가 손상될 수 있습니다.

리튬이온 배터리는 전자 셀 보호 [“Electronic Cell Protection (ECP)”] 기능이 있어 과도하게 방전되지 않습니다. 배터리 방전 시 라디오가 보호 스위치에 의해 꺼집니다.

▶ **보호회로를 통해 라디오가 꺼진 경우 다시 전원을 켜지 마십시오.** 배터리가 손상될 수 있습니다.

배터리 교체하기

배터리 커버의 잠금 레버 (27) 를 풀고 배터리 커버 (26) 를 여십시오.

배터리를 분리하려면 배터리 해제 버튼 (24) 을 누르고 배터리함에서 배터리를 꺼내십시오. **무리하게 힘을 가하지 마십시오.**

배터리를 끼우려면 배터리 연결부가 배터리 마운트 연결부 위에 오도록 마운트 (28) 안으로 밀어 넣으십시오. 배터리가 맞물려 고정되게 하십시오.

배터리 커버 (26) 를 닫고 잠그십시오.







배터리 충전상태 표시기

배터리를 끼운 상태에서는 디스플레이에서 배터리 (25) 의 충전상태를 확인할 수 있으며, 배터리를 제거한 상태에서는 배터리 자체에서 확인할 수 있습니다.

디스플레이의 배터리 충전상태 표시기



라디오가 전원에 연결되지 않은 상태에서 전압이 충분한 배터리를 끼우는 즉시 디스플레이에 배터리 충전상태 표시기 (b) 가 나타납니다.

14 | 한국어

표시기	용량
	80-100 %
	60-80 %
	40-60 %
	20-40 %
	5-20 %
	0-5 %

배터리의 배터리 충전상태 표시기

라디오에서 배터리를 제거하면 배터리 충전상태 표시기의 녹색 LED로 충전상태를 표시할 수 있습니다.

충전상태 표시기 버튼  또는  을 누르면, 충전상태가 표시됩니다.

충전상태 표시기 버튼을 눌렀는데도 LED가 켜지지 않으면 배터리가 손상된 것이므로 교환해 주어야 합니다.

배터리 형식 GBA 18V...



LED	용량
연속등 3× 녹색	60-100 %
연속등 2× 녹색	30-60 %
연속등 1× 녹색	5-30 %
점멸등 1× 녹색	0-5 %

배터리 형식 ProCORE18V...



LED	용량
연속등 5× 녹색	80-100 %
연속등 4× 녹색	60-80 %
연속등 3× 녹색	40-60 %
연속등 2× 녹색	20-40 %
연속등 1× 녹색	5-20 %
점멸등 1× 녹색	0-5 %

완충 축전지 삽입하기/교환하기

라디오에 시간 및 기타 다른 설정을 저장하려면 완충 축전지를 끼워야 합니다. 이를 위해 알칼리 망간 배터리를 사용할 것을 권장합니다.

배터리 커버의 잠금 레버 (27) 를 풀고 배터리 커버 (26) 를 여십시오.

필요한 경우 배터리 (25) 를 제거하십시오.

배터리 케이스 커버 (23) 를 열려면 잠금쇠 (22) 를 누른 뒤 배터리 케이스 커버를 분리하십시오. 함께 공급된 완충 배터리를 끼우십시오.

이때 전극이 배터리 케이스 안쪽에 나와있는 것처럼 올바르게 끼워야 합니다.

배터리 케이스 커버 (23) 를 다시 끼우십시오.

"REPLACE AA BATTERY WHEN UNIT NO LONGER KEEPS CORRECT TIME": 라디오에서

더 이상 시간이 저장되지 않으면, 완충 축전지를 교체하십시오.

모든 배터리는 항상 동시에 교체하십시오. 한 제조사의 용량이 동일한 배터리로만 사용하십시오.

▶ **오랜 기간 라디오를 사용하지 않을 경우, 라디오에서 완충 축전지를 분리해 두십시오.** 완충 축전지를 라디오에 오래 두면 부식되고 방전됩니다.

작동

▶ **라디오에 직접 물기가 닿지 않도록 하십시오.** 라디오 안으로 물이 유입될 경우 감전의 위험이 높아집니다.

▶ **배터리 케이스, 미디어 트레이 및 교류 전류 단자의 커버는 최대한 닫은 상태로 유지하십시오.** 커버를 닫은 상태로 두어야 라디오에 물기와 먼지가 유입되지 않습니다.

오디오 작동

전원 스위치 작동

라디오의 전원을 켜려면 전원 버튼 (15) 을 누르십시오. 디스플레이 (16) 가 활성화되고 라디오를 끌 때 마지막으로 설정되어 있던 음원이 다시 재생됩니다.

라디오의 전원을 끄려면 전원 버튼 (15) 을 다시 누르십시오. 현재의 음원 설정이 저장됩니다.

볼륨 설정하기

라디오의 전원을 켜면 항상 볼륨이 낮은 상태로 설정되어 있습니다.

볼륨을 높일 때는 시계 버튼 (14) 을 시계 방향으로 돌리고 볼륨을 줄일 때는 시계 반대 방향으로 돌립니다.

볼륨 설정값이 0과 30 사이의 값으로 디스플레이에 표시됩니다. 라디오 채널을 설정하거나 변경하기 전에는 볼륨을 낮게 하고, 외부 오디오 음원을 시작하기 전에는 볼륨을 중간 정도로 맞추십시오.

음향을 끌 때는 음소거 버튼 (12) 을 짧게 누르십시오. 디스플레이에 음소거 전환 표시 (f) 가 나타납니다.

음향을 다시 켤 때는 음소거 버튼을 다시 짧게 누르거나 시계 버튼 (14) 을 시계 방향으로 돌리십시오.

소리 설정하기

최적화된 음향 재생을 위해 라디오에 이퀄라이저가 통합되어 있습니다.

고음 및 저음을 수동으로 변경하거나 다양한 음악 양식에 맞춰 음향 사전 설정을 활용할 수 있습니다. 제공되는 사전 프로그래밍된 설정 **JAZZ, ROCK, POP, CLASSIC** 및 자체 프로그래밍이 가능한 설정 **CUSTOM** 중에 선택할 수 있습니다. 소리 설정은 각 음원별로 따로 저장됩니다.

저장된 소리 설정을 선택하려면, 디스플레이의 소리 설정 표시기 (i) 에 원하는 설정이 나타날 때까지 이퀄라이저 버튼 (20) 을 짧게 누르십시오.

설정 CUSTOM 변경:

- -5 ~ +5 범위에서 고음 및 저음 레벨을 설정할 수 있습니다.
- 이퀄라이저 버튼 (20) 을 0.5 초 이상 누르십시오. 디스플레이의 소리 설정 표시기 (i) 에 CUSTOM 가 나타납니다.
- 고음/저음 레벨 표시기 (d) 에 TRE 이 나타나고, 고음 레벨의 현재값이 깜박입니다. 고음 레벨을 변경하려면, 시계 버튼 (14) 을 돌리십시오. 설정된 값을 저장하려면, 시계 버튼 (14) 을 누르십시오.
- 고음/저음 레벨 표시기 (d) 에 BAS 가 나타나고 고음 레벨의 현재값이 깜박입니다. 고음 레벨에 설명된 바와 같이 저음 레벨을 변경하고 저장하십시오.
- 저음 설정을 저장한 후 또는 시계 버튼 (14) 을 마지막으로 누른 다음 10초가 지나면 라디오가 표준 디스플레이 표시로 되돌아갑니다.

음원 선택하기

음원을 선택할 때는 원하는 내부 또는 외부 음원이 디스플레이에 표시될 때까지 소스 버튼 (18) 을 여러 차례 누르십시오:

- **FM:** 초단파를 통한 아날로그 라디오,
- **AM:** 중파를 통한 아날로그 라디오,
- **AUX:** 미디어 트레이의 3.5 mm 소켓 AUX IN (10) 을 통한 외부 음원(예: CD 플레이어),
- ***:** 블루투스® 연결을 통한 외부 음원.

현재 음원은 음원 표시기 (h) 및 블루투스® 표시기 (g) 에서 확인할 수 있습니다.

라디오 채널 설정/저장하기

라디오 채널 음원을 선택할 때는 음원 표시기 (h) 에 초단파 수신 범위에서 FM 및 중파 수신 범위에서 AM 이 나올 때까지 소스 버튼 (18) 을 여러 차례 누르십시오.

설정하는 과정에서 시간 표시기 (j) 에 라디오 주파수가 나타난 후, 라디오 주파수 표시기 (a) 에 나타납니다.

적합한 신호가 충분한 강도로 수신되면 라디오는 자동으로 스테레오 수신으로 전환되고 디스플레이에 스테레오 수신 (e) 표시기가 나타납니다.

- **특정 채널을 설정하려면,** 원하는 주파수 및 원하는 채널이 디스플레이에 표시될 때까지 소스 버튼 (18) 을 누르십시오.
- **신호 강도가 더 높은 다음 채널을 찾으려면,** 하향 검색 버튼 (13) 또는 상향 검색 버튼 (19) 을 짧게 누르십시오. 다음으로 탐색된 채널이 디스플레이에 표시되고 재생됩니다.
- **신호 강도가 더 높은 모든 채널을 찾으려면** 하향 검색 버튼 (13) 또는 상향 검색 버튼 (19) 을 5 초 이상 누르십시오. 탐색된 채널들이 각각 5 초 간 재생된 뒤 주파수 대역 끝까지 탐색이 이뤄집니다. 채널 탐색을 중단하려면 하향 검색 버

튼 (13) 또는 상향 검색 버튼 (19) 을 짧게 누르십시오.

- **설정된 채널을 저장하려면** 저장 공간 표시기 (c) 에 저장 공간의 번호가 표시될 때까지 원하는 저장 공간의 프로그램 저장 버튼 (17) 을 누르십시오.
- 강도가 가장 높은 채널을 자동으로 탐색하고 저장하려면 하향 검색 버튼 (13) 및 상향 검색 버튼 (19) 을 동시에 누르십시오. 라디오는 수신 가능한 모든 채널을 점검하고 수신이 가장 좋은 채널 4개를 프로그램 저장 공간 1부터 4에 저장합니다. 이때 경우에 따라 기존에 저장된 채널이 덮어쓰기되므로 유의하십시오. 탐색이 끝나면 프로그램 저장 공간 1에 저장된 채널이 재생됩니다.
- **저장된 채널을 재생하려면** 프로그램 저장 버튼 (17) 을 짧게 누르십시오. 저장 공간의 번호가 저장 공간 표시기 (c) 에 표시됩니다.

막대형 안테나 맞추기

라디오에 조립식 막대형 안테나 (29) 가 함께 제공됩니다. 라디오 작동 시 막대형 안테나를 수신기가 잘 되는 방향으로 돌리십시오.

수신 강도가 충분하지 않을 경우 수신이 더 잘되는 곳으로 라디오를 옮기십시오.

지침: 라디오 작동 시 무선 설비, 무선 기기 또는 다른 전자 기기가 바로 주변에 있을 경우 라디오 수신에 장애가 발생할 수 있습니다.

AUX를 통해 외부 음원 연결하기

잠금 레버 (8) 를 풀고 미디어 트레이의 커버 (7) 를 여십시오. AUX 케이블 (9) 의 3.5 mm 플러그를 AUX IN 소켓 (10) 에 꽂으십시오. 적합한 음원에 AUX 케이블에 연결하십시오.

AUX 음원을 재생하려면 음원 표시기 (h) 에 AUX 표시기가 표시될 때까지 소스 버튼 (18) 을 여러 차례 누르십시오.

AUX 케이블을 제거할 경우, 오염 방지를 위해 미디어 트레이의 커버 (7) 를 다시 닫고 잠그십시오.

크기가 잘 맞으면, AUX를 통해 연결된 음원을 보관함 (6) 에 보관할 수 있습니다.

AUX 작동 중에 프로그램 저장 버튼 (17) 을 누르면 마지막으로 사용했던 라디오 작동 모드에 저장된 채널로 이동합니다.

블루투스®를 통해 외부 음원 재생/제어하기

블루투스®를 통해 음원을 재생하려면, 블루투스® 표시기 (g) 가 디스플레이에 표시될 때까지 소스 버튼 (18) 을 여러 차례 누르거나 또는 현재 음원과 관계없이 블루투스® 버튼 (21) 을 짧게 누르십시오.

이미 블루투스®를 통해 음원이 연결되어 있고 해당 음원이 제공된다면 이 음원과 자동으로 연결이 됩니다. 연결되는 즉시 블루투스® 표시기 (g) 가 계속해서 켜집니다.

2 분 내에 연결이 되지 않으면 연결 시도가 중단되고, 블루투스® 표시기 (g) 가 계속해서 깜박입니다. 이후 연결이 되지 않고 17 분이 지나면 라디오가 자동으로 꺼집니다.

블루투스®를 통해 새로 연결하기:

- 새 외부 음원을 연결하려면, 블루투스® 버튼 (21)을 0.5 초 이상 누르십시오. 탐색 과정 중이거나 기존에 연결이 되어 있는 상태 혹은 다른 음원이 작동하고 있을 때도 가능합니다.
- 라디오가 탐색을 시작합니다. 탐색이 진행되는 동안 블루투스® 표시기 (g)가 깜박입니다.
- 외부 음원을 통한 연결을 활성화하십시오. 스마트폰의 경우 대부분 블루투스® 메뉴 설정 안에서 진행할 수 있습니다. GPB 18V-5 C xxx의 명칭으로 라디오가 사용 가능한 음원으로 표시됩니다. 해당하는 음원/스마트폰 사용 지침을 참조하십시오.
- 블루투스® 연결이 되는 즉시 블루투스® 표시기 (g)가 계속해서 켜집니다.

블루투스®를 통해 연결된 음원은 라디오를 통해서도 제어할 수 있습니다:

- 트랙을 선택하고 시작하려면 원하는 트랙을 찾아서 상향 검색 버튼 (19) 및 하향 검색 버튼 (13)을 여러 차례 짧게 누르십시오. 트랙을 선택하면 자동으로 재생이 시작됩니다.
- 재생을 중단하려면, 음소거 버튼 (12)을 누르십시오. 디스플레이에 음소거 전환 표시 (f)가 나타납니다.
- 계속 재생하려면, 음소거 버튼 (12)을 다시 누르거나, 볼륨을 변경하거나 상향 검색 버튼 (19) 혹은 하향 검색 버튼 (13)을 누르십시오.
- 트랙 안에서 앞으로 이동하거나 뒤로 이동하기를하려면 원하는 위치를 찾을 때까지 상향 검색 버튼 (19) 및 하향 검색 버튼 (13)을 계속 누르고 계속하십시오.

블루투스®를 통한 작동 중에 프로그램 저장 버튼 (17)을 누르면 마지막으로 사용했던 라디오 작동 모드에 저장된 채널로 이동합니다.

시간 표시기 설정하기

시간 표시기 메뉴로 이동하려면, 시계 버튼 (14)을 짧게 누르십시오.

시간을 12 시간 <12H> 및 24 시간 <24H> 형식 중에 선택하고, 시간 및 분을 설정할 수 있습니다.

메뉴 탐색하기:

- 메뉴 설정 변경하기: 시계 버튼 (14)을 돌리십시오.
- 메뉴 설정 저장하기: 시계 버튼을 누르십시오.
- 분 설정을 저장한 후 또는 시계 버튼을 마지막으로 누른 다음 10 초가 지나면 라디오가 오디오 작동으로 되돌아갑니다.

라디오에서 더 이상 시간이 저장되지 않으면, 완충 축전지를 교체하십시오.

리셋 기능

라디오의 모든 설정을 초기 설정으로 리셋하려면, 시계 버튼 (14)을 0.5 초 이상 누르십시오. 디스플레이에 <RS>가 나타납니다.

시계 버튼 (14)을 돌려 리셋 <YES> 과 현재 설정으로 되돌아가기 <NO> 중에 선택할 수 있습니다. 시계 버튼을 눌러 선택한 내용을 승인하십시오.

외부 기기의 전원 공급

USB 연결부

USB 연결부를 이용하여 USB를 통해 전원을 공급할 수 있는 장치(예: 다양한 유형의 휴대전화)를 충전할 수 있습니다. 최대 충전 전류는 2.1 A입니다.

잠금 레버 (8)를 풀고 미디어 트레이의 커버 (7)를 여십시오. 외부 기기의 USB 연결부를 적합한 USB 케이블을 통해 라디오의 USB 충전 소켓 (11) (USB)에 연결하십시오.

배터리를 통해 작동할 경우 외부 기기는 라디오가 켜져 있을 때만 충전할 수 있습니다.

크기가 잘 맞으면, 충전하는 동안 외부 기기를 보관함 (6)에 보관할 수 있습니다. 충전하는 동안 외부 기기가 가열되면, 미디어 트레이의 커버 (7)를 열어 외부 기기가 과열되지 않도록 하십시오.

충전 과정이 끝나거나 USB 케이블이 제거된 후에는 커버 (7)를 다시 닫아두어 라디오에 오염물이 묻지 않도록 하십시오.

교류 전류 단자

교류 전류 단자를 통해 다른 외부 전동 기기를 작동할 수 있습니다. 이 소켓은 국가별 규격에 따라 차이가 있을 수 있습니다.

외부 기기 전원은 라디오의 전원이 연결된 상태에서 교류 전류 단자를 통해서만 공급 가능하며 삽입된 배터리를 통해 공급될 수 없습니다. 라디오가 전원 에 연결되어 있는 경우, 확인용으로 녹색 표시 등 (3)이 점등됩니다.

연결된 모든 전동 기기에 허용되는 최대 전력 소비의 합계가 다음 표에 제시된 값을 초과해서는 안 됩니다(커버 플랩 (4) 아래 하우징에 표시된 내용 참조):

제품 번호	최대 전력 소비 합계 (A 단위)
3 601 DA4 0B0	15
3 601 DA4 050	10

교류 전류 단자의 커버 플랩 (4)을 열고 외부 전동 기기의 플러그를 라디오의 소켓 (5)에 끼우십시오.

사용 방법

올바른 배터리의 취급 방법

배터리를 습기나 물이 있는 곳에 두지 마십시오. 배터리를 -20 °C 에서 50 °C 온도 범위에서만 저장하십시오. 예를 들면 배터리를 여름에 자동차 안에 두지 마십시오.

가끔 배터리의 통풍구를 부드럽고 깨끗한 마른 솔로 청소하십시오.

충전 후 작동 시간이 현저하게 짧아지면 배터리의 수명이 다한 것이므로 배터리를 교환해야 합니다.

폐기처리에 관련된 지시 사항을 준수하십시오.

보수 정비 및 서비스

보수 정비 및 유지

라디오를 항상 깨끗하게 유지해야 작업을 제대로 안전하게 진행할 수 있습니다.

연결 코드를 교환해야 할 경우 안전을 기하기 위해 **Bosch** 또는 **Bosch** 지정 전동공구 서비스 센터에 맡겨야 합니다.

물기있는 부드러운 천으로 오염된 부위를 깨끗이 닦으십시오. 세척제 또는 용제를 사용하지 마십시오.

AS 센터 및 사용 문의

AS 센터에서는 귀하 제품의 수리 및 보수정비, 그리고 부품에 관한 문의를 받고 있습니다. 대체 부품에 관한 분해 조립도 및 정보는 인터넷에서도 찾아볼 수 있습니다 - www.bosch-pt.com

보쉬 사용 문의 팀에서는 보쉬의 제품 및 해당 액세서리에 관한 질문에 기꺼이 답변 드릴 것입니다.

문의나 대체 부품 주문 시에는 반드시 제품 네임 플레이트에 있는 10자리의 부품번호를 알려 주십시오.

콜센터
080-955-0909

다른 AS 센터 주소는 아래 사이트에서 확인할 수 있습니다:

www.bosch-pt.com/serviceaddresses

운반

포함되어 있는 리튬이온 배터리는 위험물 관련 규정을 따라야 합니다. 별도의 요구사항 없이 배터리를 사용자가 직접 도로 상에서 운반할 수 있습니다.

제3자를 통해 운반할 경우(항공 운송이나 운송 회사 등) 포장과 표기에 관한 특별한 요구 사항을 준수해야 합니다. 이 경우 발송 준비를 위해 위험물 전문가와 상담해야 합니다.

표면이 손상되지 않은 배터리만 사용하십시오. 배터리의 접촉 단자면을 덮어 불인 상태로 내부에서 움직이지 않도록 배터리를 포장하십시오. 또한 이와 관련한 국내 규정을 준수하십시오.

처리



라디오, 충전용 배터리/배터리, 액세서리 및 포장은 친환경적으로 재활용됩니다.



라디오와 충전용 배터리/배터리를 가정용 쓰레기로 처리하지 마십시오!

충전용 배터리/배터리:

리튬이온:

운반 단락에 나와 있는 지침을 참고하십시오 (참조 „운반“, 페이지 17)을 누르십시오.